

**薬剤学分野の論文が日本薬学会機関誌 Biol. Pharm. Bull.の「Highlighted papers selected by Editor-in-Chief」に選定されました**

日本薬学会機関誌 Biol. Pharm. Bull. (BPB) に掲載された薬剤学分野の論文が、同機関誌の「Highlighted papers selected by Editor-in-Chief」及び J-STAGE で紹介する「Featured Article」に選定されました。

「Highlighted paper selected by Editor-in-Chief」は、BPB 編集委員会において、一般投稿論文を対象に、独創性、科学的貢献度、方法、論文構成、表現等を基準に特に優れた論文として選定されるものです。

本論文の研究は、狙った細胞へ様々な生理活性を有するガス状分子（硫化水素）を送達する新規ドラッグデリバリーシステム (DDS) 技術の開発に成功したものです。硫化水素は近年、生体内で多様な生理作用を有することが示され、炎症性疾患などの酸化ストレスが病態に関与する疾患治療への応用が期待されていますが、ガス状分子で不安定であるため、狙った細胞への送達は困難な状況にありました。研究グループは、糖修飾された高分子薬物担体に硫化水素放出機能を搭載することで、肝臓内の特定の細胞で選択的に硫化水素を放出する高分子型プロドラッグの開発に成功しました。

発表雑誌：

Biological and Pharmaceutical Bulletin 42, 273–279 (2019)

発表タイトル：

Hepatic and Intrahepatic Targeting of Hydrogen Sulfide Prodrug by Bioconjugation

著者：

Kosuke Sakai,<sup>a</sup> Hidemasa Katsumi,<sup>\*a</sup> Kentaro Kamano,<sup>a</sup> Kiyo Yamauchi,<sup>a</sup> Ayuko Hajima,<sup>a</sup> Masaki Morishita,<sup>a</sup> Toshiyasu Sakane,<sup>a,b</sup> and Akira Yamamoto<sup>a</sup>

\*Corresponding author

著者所属：

<sup>a</sup>Department of Biopharmaceutics, Kyoto Pharmaceutical University

<sup>b</sup>Department of Pharmaceutical Technology, Kobe Pharmaceutical University